

倉橋の魅力発信隊 これはおどろき！「倉橋 SANGYOU マップ」
 ～倉橋島を元気づけるために、倉橋の魅力が詰まった「倉橋 SANGYOU マップ」を作って県内外に発信しよう～ **小単元1 海にかかわる産業をさくろう**

令和3年9月28日
 第5学年教室
 男子6人、女子9人
 計15人

1 単元の目標【育成を目指す資質・能力】

倉橋の様々な産業を調べたりその魅力を発信したりする活動を通して、倉橋で暮らす人々が自然環境や地形を利用しつつ、他の地域の人々とつながりながら工夫して生活していることを理解し、地域のよさや人々の思いに気づき、自分も倉橋の発展のためにできることを考え、自らの生活や行動に生かすことができる。

2 単元の概要

本単元は、倉橋の魅力発信隊となった児童が、倉橋にある様々な産業とそれに関わる人々の思いを知り、その魅力を県内外の人々に発信する過程を通して、地域のよさを再認識し地域をよりよい関わりを考えるものである。

統合により校区が広く他地域を訪れる機会の少ない環境にあるため、倉橋島に住む人々が地域のよさを生かして様々な産業に従事し、倉橋町以外の地域とつながりを持ちながら生活していることに気付いている児童は多いとは言えない。地域の活性化を考えるとき、地域の良さを知り、誇りを持ち、この生活を持続させていく意識をもつことは重要である。

倉橋の魅力とは何かを考えた時、船の種類の多さに気付いた児童が、水産業の発展を調べるうちに、他地域と海路でつながっていることを知る。その後、陸路でのつながりにも気づき、関連する運輸業や農業や工業の存在も知る。児童は、地域の様々な人やものから情報を集め整理・分析することを通して、倉橋の産業の発展が、自然環境に恵まれていることや地域（自分の生活）を活性化するための人々の工夫（思い）によってあることをつかむであろう。また、倉橋を活性化するために、「倉橋の産業の魅力を県内外へ発信」する方法をどのように行えばよいか考えることを通して、視点を明確にした相手に伝わりやすい表現方法も工夫するであろう。したがって、児童にとって、興味・関心を高めながら、探究的な学習に主体的・協働的に取り組む力を育むのにふさわしい単元であると考えられる。

この小単元1では、昨年度の牡蠣の学習を想起させながら、海の魅力に目を向けさせ、特に船の種類の違いによる仕事の内容と始まった理由等を明らかにしながら、海路による人のつながりに気付かせるために、児童の取材を中心として学習を進めていく。

3 児童の実態

- ①総合的な学習の時間が好きだという児童は、100%であり、積極的に学習に臨むが、ゴールに向けて何をどのように調べていけばよいのかを見通しを持って計画的に行うことのできると考えている児童は、62%である。
- ②自分の考えの根拠を明らかにして相手に伝えたり、自分の考えと比較したりしながら聞き、考えを深めるまでには至っていない。
- ③地域を好きだという児童は100%であるが、その魅力を相手に分かりやすく説明できる児童は多いとは言えない。

4 指導の工夫「しかけ」

- ①ゴールをはっきりとさせ、ゴールから逆思考で必要なこと何かを明確にし、計画を立てさせる。個人思考から全体思考へと広げ修正させることで、考えをより確固たるものにする。
- ②考えの根拠を伝える際には、地図や写真などの考えを裏付ける具体物を使って説明させる。また、全体交流の場では、児童の考えをキーワードで分類して板書し、自分の考えと比較しやすくする。
- ③魅力を十分に感じ取るために、ICTを活用し実際に取材にでかけ情報収集をさせる。写真にコメントをつけたり、ミニ交流で出された質問についてさらに詳しくインタビューしたりして、自分の言葉でまとめ、全体で発表させる。

5 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ①色々な産業に係わる職業が、地域に存在することを理解している。 ②タブレットを活用した取材やインターネットによる必要資料収集を適切に実施している。 ③倉橋町の産業の魅力が理解できたのは、それぞれの仕事内容や仕事をしている場所と他地域とのつながりを探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①倉橋町にある様々な産業へ関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 ②課題の解決に必要な情報を、視点を明らかにして多様に収集している。 ③課題解決に向けて、視点に沿って複数の情報を整理・分析して考えている。 ④相手や目的を意識して分かりやすく表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①課題を解決するために、計画的に探究活動に取り組もうとしている。 ②調査活動から得た知識や、自分とは異なる友達の考え等を生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③課題解決に向けた自分の取り組みや状況を振り返り、地域の活性化に向けて取り組もうとしている。

6 単元の計画 (小単元1 全28時間) 本時			
次	時	学習内容	○評価規準 (評価方法)
第一次	1	課題の設定 ・これまでの活動を振り返り、さらに倉橋の魅力とは何かを探るためにイメージマップを作り船に関心を持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">なぜ倉橋町には、いろいろな種類の船があるのだろう。</div>	○いろいろな種類の船が、地域に存在することを理解している。 知① (ワークシート)
	2	・倉橋の魅力を探り自分たちができることを考えるために、倉橋町に色々な種類の船があるわけを調べるという課題を設定し、活動計画を立てる。	○なぜ倉橋町に色々な種類の船があるのかを明らかにするために、計画的に探究活動に取り組もうとしている。 主① (行動観察)
第二次	3	情報の収集 ・色々な種類の船がある理由について仮説を立て、情報収集の仕方を考える。	○倉橋町に色々な種類の船があることに興味をもとに課題を作り、解決するための見通しをもっている。 思① (ワークシート) ○課題の解決に必要な情報を、視点を明らかにして多様に収集している。 思② (タブレットへの記述) ○タブレットを活用した取材やインターネットによる必要資料収集を適切に実施している。 知② (タブレットでの情報収集資料)
	4 ～ 17	・仮説を確かめるための視点を決めグループごとに情報を収集する。 ①遣唐使船の見学 (長門の造船歴史館) ②倉橋の船の数の調査 (グーグルマップから) ③地域の船の調査 (インタビュー)	
	18 ～ 22	整理・分析 ・収集した情報から必要な情報を選択し、全体で共有するために整理する。	
	23 本時	・仮説に沿って集めた情報をグループごとに発表する。 ・それぞれの情報にある特徴を見つけ、船の種類がたくさんある理由を考える。	○課題解決に向けて、視点到合わせて情報を整理・分析して考えている。 思③ (ワークシート)
第三次	24 ～ 26	まとめ・創造・表現 ・得た情報から、目的に合った情報を選び、おうちの人や地域の人に魅力を再発見してもらうために、学習発表会で発表するプレゼンを作成する。	○倉橋の産業の魅力を発信することについて、相手や目的を意識して効果的に表現している。 思④ (プレゼン) ○調査活動から得た知識や、自分とは異なる友達の考え等を生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 主② (行動観察) ○倉橋町にいろいろな種類の船がある理由が理解できたのは、それぞれが船の仕事内容や仕事をしている場所と他地域とのつながりを探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。 ③ (ワークシート) ○課題解決に向けた自分の取組みや状況を振り返り、地域の活性化に向けて自分のこととして取り組もうとしている。 主③ (行動観察・振り返り)
	27	実行 ・学習発表会でいろいろな種類の船のある理由について発表し、その魅力を再認識する。	
	28	振り返り ・自己評価や他者評価を行う。 見てもらった保護者や6年生に評価してもらう。	
(小単元2) 小単元後		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">倉橋は海でつながり発展してきた。陸路はどのようにつながっているのだろう。</div> ・海路だけでなく、陸路でも他地域とつながりを持たせ発展した国内最大のチルドネットワーク株式会社「ムロオ」を紹介し、「陸路はどのようにつながっているのだろう。」という問いを持たせ、他の産業に目を向けさせる。	

7 本時の展開 (本時 23/28)

【本時の目標】

課題解決に向けて、視点に合わせて情報を整理・分析して考えることができる。

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆努力を要する状況と判断した児童生徒への手立て	評価規準 (評価方法)
教わる・つかむ	1 本時のめあてを確認する。	◇めあてを捉えやすくするために、仮説を確認する。 ◇倉橋町の船の種類が多さをよりクローズアップさせるために、江田島市と下蒲刈町の船の種類を提示し比較させ、学習への興味をもたせる。	
	<p>【めあて】倉橋の船の種類がどうしてこんなにたくさんあるのか、その理由をさぐろう。</p>		
考える・学び合う	2 グループで、収集した情報を紹介する。	◇グループごとの情報を共通理解しやすいようにするために、事前にタブレットに情報を共有しておく。 ◇情報交流がしやすいように、グループの形態を工夫する。(異なる船同士) ◇仮説が正しいかどうか予想をしていたことと比較して、資料からその根拠を探させる。 ◆グループで話し合わせることで、根拠を確かなものとする。	
	3 紹介しあった情報から、倉橋の船の種類が多くなったわけを考える。 (グループ→全体) 4 倉橋町に色々な種類の船がある理由について様々な情報に加え、倉橋町で生活を持続させていくための知恵や工夫という新たな視点を与えて総合して考える。 (全体)	<p>【深い学びへつなぐ『しかけ』】</p> <p>時代の変化により、石船から帆を扱った仕事へと変換した「アイルマリーン」の方や、県外からこの地を選んで造船の仕事を始められた「風の子」の方の情報を伝えることにより、倉橋町に色々な種類の船がある理由について再度考えさせる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 40%;"> <p>倉橋の海の地形は、船をとめるのに適しているんだね。他の地域の人も認められる海なんだね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 40%;"> <p>御影石を運んでいた人もいたんだね。遣唐使船だけじゃなくて色々倉橋の歴史に関係があるものもあるんだね。</p> </div> </div>	
深める・つなげる	5 本時のまとめをする。		○倉橋町にいろいろな種類の船がある理由について、仮説をもとに調べた情報を根拠として考え、友達と交流し明らかにすることができる。 ☒③ (ワークシート)
	<p>【まとめの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の良さ・・・地形 (湾) が風の影響を受けにくくなっている。(風当たり) 美しい自然 魚が豊富にいる (山に囲まれエサになるプランクトンが多いため) 他の海とつながっている (船を停泊しやすい) ・地形 (島)・・・音戸大橋は60年前につくられた。それまでは、船でつながっていた。 ・働く人々の工夫・・・自分のくらしをさらによくしたい。倉橋島をよりよくしたい。 		
	6 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。	◇振り返りの視点を示し、学習の深まりを実感させる。	
<p>【振り返りの例】</p> <p>牡蠣が日本一の特産品になった理由と色々な種類の船がある理由が似ていた。倉橋町は、本当に自然環境に恵まれたよい地域だと改めて感じた。</p>			

8 成果と課題

(1) 本単元で育成を目指す資質・能力「知識・技能」・「思考力・判断力・表現力」・「主体性」に係る成果「課題発見・解決の過程を位置づけた単元づくり」と「豊かな対話から深い学びへつなぐ授業づくり」を行い、意図的な「しかけ」を工夫し、児童の主体的な学びを促した。その過程で見られた児童の姿・記述は次の通りである。

①行動

【課題設定】

自分たちの住む地域に浮かぶ船を、タブレットをもち観察に行った。そこで船の多さに驚き、その理由を探ることを課題として設定した。



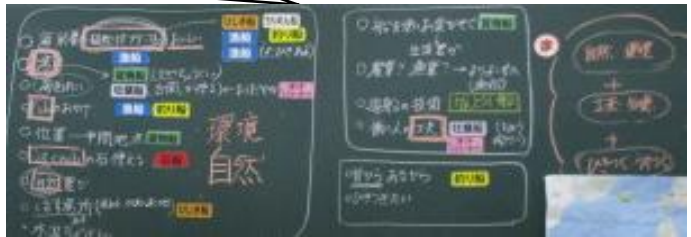
【情報収集】

地域に浮かぶ船の持ち主にインタビューし情報を得た。休日に倉橋町を保護者といっしょにドライブし、各浦々の船を撮影し、湾のあるところに多く船が停泊していることに気付いた児童もいた。それぞれが撮った写真と情報を全員で共有し共通点を見付けた。



【整理・分析】

それぞれが集めた船に関する情報をタブレットで作成したプレゼンで交流し合い、共通点を明らかにすることで課題解決へとつなげていった。



【まとめ・創造・表現】

得た情報から、目的に合った情報を選び、他学年や保護者、地域の人に魅力を再発見してもらうために、学習発表会で発表するプレゼンを作成し発信した。

②ワークシートの記述から

倉橋の船の種類が多い理由について、最初は、4年生の時に調べた「カキ」の時とは別のことだと考えていたけど、「カキ」も「魚」もすべてが共通していることが分かってびっくりしました。こんなに小さい島だけど、すごく自然が多くて、それを続けていくための人々の工夫や努力があって、こうしてひきついでいることが分かりました。倉橋は最高で、倉橋だからできることがあるとすごく実感しました。

私は、この学習をして、倉橋に船の種類が多いのは、海が近いからとしか考えていませんでした。でも、グループに分かれて色々な船の資料をつくり説明し合うと、「倉橋の自然と環境」「ここで働いている人々の工夫や知恵」「それを残していこうとする人々の思い」がそれぞれあったからだと分かりました。

・・・だから、自分たちの住む倉橋の自然をこわしたり環境がはかいされたりするといけなないので、大切にしようと思いました。

③分析

- ・ タブレットを活用して取材する力やインターネットを有効に利用して必要資料を収集する力が付いたといえる。また、探究的な学習により課題解決できたということに気付いている。【知識・技能】
- ・ 話し合う視点を明確にすることで、課題解決に必要な情報の整理・分析を効果的に行い、思考を深めることができている。また、相手や目的に応じて分かりやすく表現する力が高まっている。【思考力・判断力・表現力】
- ・ 課題解決に向けたこれまでの取組を振り返り、地域のよさを再発見し、活性化のために取り組もうという思いをもつことができている。【主体性】

(2) 課題について

- ・ 豊富な地域の題材を、いかに9年間を通して発達段階に応じて活用しやすいものにするのかを考える。具体的な例として、それぞれの教員が開拓していったこれまでの実践を分かりやすくして保存したり、関係機関との連携をとりやすいようにネットワークのマップを作ったりして、使いやすかりキュラムマップを目指してブラッシュアップしていく。
- ・ 本校は、今後さらに少人数化が進み、コミュニケーション能力の育成が課題となることが考えられる。そのため、広い社会に出ていく児童には、課題に対して主体的に取り組み、自分の考えを相手に伝える力をつけることが一層必要になるであろう。したがって、他の小学校や団体と連携をとる機会をさらに増やすような単元構成を行う。